

泉田保育園と小泉保育園の統合移転改築事業について

1 少子化の進行と保育所の歩み

上田市の保育所における入所児童数は、昭和 55 年をピークとして、その後、減少に転じる中で、保育所を統廃合しながら今日に至っております。

また、少子化が進展する一方で、共働き世帯や核家族世帯の増加に伴い、保育サービスに対する要望は、多様化してきております。

2 経過

- (1) 上田城南地域協議会及び川辺泉田地区自治会連合会から「泉田保育園の早期新築・移転について」の意見書(要望書)が提出されています。
- (2) 泉田保育園保護者会からは、新園舎建築の要望をいただいています。
- (3) 小泉保育園保護者会からは、送迎用駐車場確保についての要望をいただいています。

3 入園状況等

単位:人

	建築年	経過年数 (年)	定員数	H15 園児数	H20 園児数	H20在園児の居住地別人数			
						小泉	吉田	福田	その他
小泉	S35.7	48	60	28	18	8	2	0	8
泉田	S37.9	46	60	60	41	0	26	6	9
合計			120	88	59	8	28	6	17

* 両園ともに、市内で最も建築後年数が経過している。 * 毎年度 4月 1日の園児数

4 今後の考え方

- (1) 小泉保育園、泉田保育園共に、公立保育園の中で最も建築後年数が経過している園舎であり、耐震化の問題も含め、安全性の確保は、喫緊の課題です。また、園児数の減少も深刻化しつつあります。統合による移転改築を行いたいと考えております。
- (2) 新園舎の候補地は、両園のほぼ中間地点に当たる小泉地籍の第一学校給食センター南側隣接地(市所有地:約 3700㎡)でどうかと考えております。
- (3) 建設及び運営に当たっては、公立、委託、私立などが考えられるで、地元関係者や保護者会と協議を重ねる中で方向を決めていきたいと考えております。
- (4) 新園舎の定員は90人程度とし、保育需要の高い乳児(0歳児)保育や特別保育事業(延長保育・一時保育)の実施、或いは、この地域に設置されていない地域子育て支援センターも併設していきたいと考えており、地元の皆さんと協議の上、進めてまいります。



* 学校区 泉田(川辺小・六中)、小泉(川西小・六中)